



本田宗一郎物語

世界一はやいエンジンを作った男

あ ら す じ

子どもの頃から、興味のある事は何でもやってみなければ気が済まない性分だった本田宗一郎。彼が特に夢中になったのは、当時まだ珍しかった「自動車」でした。16歳で上京し自動車修理工場に就職。22歳で故郷に自分の修理工場を持ち、学校に通いながら、開発事業も手がけました。

事業は順調でしたが、戦争によってすべてを失ってしまいます。敗戦のショックで一時は夢を見失いましたが、ひよんなきっかけで、自転車にエンジンをつける事を思いつき、これが大ヒット。のちに世界中から愛されるスーパーカブへと成長していきます。

そして、子どもの頃からの夢だった「自動車」を作り、さらには数々のバイクレースやF1にも参戦。「世界一はやいエンジンを作った男」の称号を手に入れました。

現場を愛し、徹底した現場主義を貫いた生き方は、今尚多くの人の憧れです。

DVDをより深く子どもたちが理解し、考える力をつけるために

視聴後に、簡単な声掛けや感想を書く事で、子どもたちの理解はより一層深まり、考える力が身に付きます。

- (1) 宗一郎はどんな子どもだったかな？
- (2) 宗一郎は車が大好きだったけれど、キミは何か好きな事がある？
- (3) アイディアが浮かぶ時って、どんな気持ちになると思う？
- (4) 宗一郎はいつも新しいものを作ろうとしていたけど、なぜだろう。
- (5) キミは、将来どんなことをやりたい？
そして、それをやり遂げるためには何が大切だと思う？
- (6) 「私はこんな風に思った」「私はここが面白かった」など、お友達と色々な話をしてみましょう。
また、おうちの人にもDVDで見たことを教えてあげましょう。

